

ICTによる学び
文部科学大臣表彰

令和2年度文部科学大臣優秀教職員表彰報告は3月16日、市役所で行われました。

訪れたのは、武口友幸中村第二小学校教諭と佐藤和子同小学校校長。

同賞は、学校教育における教育実践などに顕著な成果をあげた教職員を表彰するもの。武口教諭は算数専科の教員としてICTを活用し、児童の主体的な学びを指導したことが評価され、同賞を受賞しました。

報告を受けた佐藤憲男副市長は「受賞おめでとう、ございます。ほかの模範となる教職員としてこれからもがんばってほしい」と述べました。

夢と希望を胸に
市内小・中学校入学式

市内小・中学校の入学式は4月6日、一斉に行われ、大勢の児童生徒が緊張と希望を胸に初めての校門をくぐりました。

中村第一小学校では、52人の新一年生が入学。新一年生は先生に続き一列になり、保護者に迎えられ体育館に入場。名前を呼ばれると一人一人大きな声で返事をして立ち上がりました。

渡邊義人同小学校校長が新一年生たちに「皆さんにお願いが三点あります。一つ目は、友だちの良いところを見つけましょう。二つ目は交通事故に気をつけましょう。三つ目は、本をたくさん読みましょう。皆さんの入学を歓迎します」と式辞を述べました。

今年は、市内の小学校に281人の児童と、中学校に305人の生徒が入学しました。



地域の安全と安心を守る

市消防団員辞令交付式

令和3年度の市消防団員辞令交付式は4月2日、市役所で行われ11人の新入団員が辞令の交付を受けました。

本団の菅野忠孝さんの新入団員宣言のあと、山田行雄消防団長が「先輩団員の姿を見て立派な消防団員になってください」、立谷市長が「崇高な郷土愛、誇りをもって職務にあたってほしい」とそれぞれ訓示を述べました。

階級変更による辞令の交付が行われ、防災の意識を新たにしました。



市消防団は4月1日現在、団員497人。地域の安全安心に貢献しています。

黄色い帽子で交通安全

新入学児童にランドセルカバーなどを贈呈

市、相馬地区交通安全協会、日本コープ共済生活協同組合連合会は4月6日、新入学児童にランドセルカバー、腕章、黄色い帽子を贈りました。

贈呈式は市役所で行われ、荒貞昭相馬地区交通安全協会長がランドセルカバーを、清水誠二相馬警察署長が腕章を、阿部勝弘副市長が黄色い帽子を新入学児童代表として出席した中村第一小学校の阿部桜季さんと油井緩奈さんに手渡しました。

黄色い帽子などを受け取つ



た児童たちは、大きな声でお礼を述べました。

台風被害の復旧に大きく尽力 派遣職員離任式



3月末で離任した派遣職員離任式は3月26日、市役所で開かれました。

離任したのは、令和元年東日本台風などで被害を受けた本市の復旧作業を支援するために派遣された前山智洸さん（新潟県三条市）、菊池剛馬さん（東京都稲城市）、本美大輔さん（神奈川県小田原市）、深澤優希さん（愛媛県西条市）、水田哲朗さん（熊本県熊本市）の5人。

離任する職員を代表し菊池さんが「災害復旧の一助になればと思います。相馬市と関係各市の発展を願っています」とあいさつしました。

立谷市長は「皆さんには令和元年東日本台風や2月13日発生の福島県沖地震の災害対応にあたっていただきました。相馬市で災害対応を経験したということが、地元に戻ってからも役立つことを期待しています」と感謝の言葉を述べ、派遣職員一人一人に感謝の気持ちを込めた色紙を渡しました。

式終了後、市の職員などに見送られ、それぞれの自治体への帰路に就きました。

台風被害や豪雨などに備える 排水ポンプ車納車式

市排水ポンプ車納車式は3月22日、市役所駐車場内で行われ、関係者ら約20人が出席しました。

令和元年東日本台風などの大雨により大規模な浸水被害を受けたことから、今後の大雨などの災害に備えることを目的に排水ポンプ車を2台配備。

排水ポンプ車は全長約10・3メートル、一車両にポンプ

12基を備えており、1分間に60立方メートルの排水が可能です。

式で立谷市長は「近代化により本市の都市構造が変化し、内水氾濫が発生しやすくなっています。今回導入した排水ポンプ車を活用し、浸水被害の低減に努めます」とあいさつし、池内秀隆株式会社クボタ東北支社支社長から力ギの引き渡しを受けました。



霜から農作物を守る



防霜対策本部を設置

市は4月1日、立谷市長を本部長とする市防霜対策本部を設置しました。

市役所玄関に立谷市長と伊東充幸産業部長が看板を設置。当本部は、降霜による農作物の被害を最小限に食い止めるため、霜注意報が発令された際に、農家に注意を喚起します。

この時期、市内では特にナシなどの果樹関係に注意が必要で、当本部は5月末まで開設しています。

国民の安全を守る

自衛隊入隊報告

自衛隊への入隊報告は3月16日、市役所で行われました。当日は、令和2年度入隊予定者6人のうち、佐藤颯人さん、加藤和希さん、遠藤彩華さん、秋葉律音さんの4人が佐藤憲男副市長に、入隊を報告しました。

佐藤副市長は「自衛隊には東日本大震災などの災害時にさまざまな支援を受けました。新入隊の皆さんも国民の安心、安全のため、また国の防衛のため、力を合わせて立派な自衛官になることを期待してい

ます」と激励の言葉を述べました。



東北演奏会活躍を報告 相馬太鼓部



東日本大震災復興10年イベント東北太鼓感謝祭出演報告は3月18日、市役所で行われ、相馬高等学校相馬太鼓部の佐藤夕華部長、大須賀萌恵副部長が訪れました。

同イベントは、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になった東北大会に代わって開催されたもの。県大会で入賞し、東北大会出場予定であった相馬太鼓部も同イベントに参加し、2曲を演奏しました。

報告を受けた福地憲司教育長は、「これからも練習を重ね、伝統を守っていってください」と述べ、奨励金を手渡しました。

地震への支援ありがとう 広進商事

株式会社広進商事による寄付は3月19日、市役所で行われました。

訪れたのは、遠藤進同社代表取締役社長ら4人。

遠藤社長は、福島県沖地震で被災した地域の早期復旧のため、支援金を立谷市長に手渡しました。

立谷市長は「寄付ありがとうございます。大切に使用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。



待機児童対策 放課後児童クラブ 分室開所式



川原町児童センター分室の開所式は4月1日、同施設で行われ、関係者約40人が出席しました。

分室は、同センター放課後児童クラブの待機児童の解消を目的に、市役所南庁舎内に開設。

当日は、同センターを運営する永井千昭社会福祉法人報徳会理事長が「子どもたちにとって、学校が終わって保護者が仕事から帰ってくるまでの間楽しく過ごす場所を目指します。1年間楽しく過ごしましょう」とあいさつし、施設の開所を祝いました。

新型コロナウイルス感染症対策を支援 明治安田生命



明治安田生命保険相互会社による寄付は3月24日、市役所で行われ、佐藤力也同社いわき支社長ら3人が訪れました。

同社が取り組む「地域の元気づけプロジェクト」の一環として、新型コロナウイルス感染症対策のための寄付を行うもの。

立谷市長は「寄付ありがとうございます。これからもワクチン接種も始まるので、大切に使用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。

断水対策を支援 加圧式給水車寄贈



係者約20人が出席しました。

同車は立谷幸雄さんより寄贈されたもので、式典で立谷さんは「相馬市で生まれ、相馬市で育ったため、相馬市に何か恩返しをしたかった」と述べ、立谷市長が感謝の言葉を述べました。

寄贈された加圧式給水車は、市内の断水などの際に出動するほか、市外で災害が発生し応援要請があった際に出動します。

加圧式給水車の寄贈式は3月29日、市役所で行われ、関